

1. 学ぶ内容

紙食器の作りかた

2. ねらい

新聞紙や不要チラシなど、身近なもので食器を作る方法を身につける。

3. 実施の流れ

- (準備) ①折り方シートを印刷しておく(全員に配布)。
 ②紙食器用の新聞紙、もしくはチラシや要らなくなったプリントなどを用意する(全員に配布)。
 ③必要に応じて、折り方や写真シート(紙食器の写真)を拡大印刷し、黒板に貼り出しておく。

実施の流れ	内容	ポイント
導入 (3分)	<p>災害時には「食器がつかえなくなる」ことを理解する</p> <p>災害時は、普段のように自由に食器が使えなくなることを説明する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大きな地震が起こると、地震の揺れで食器が落ちて割れてしまったり、水道が止まり食器を洗うことができなくなったりすることから、食器が自由に使えなくなることを理解してもらう。 ※震災時の写真を見せると理解しやすく、有効です。
展開 (10分)	写真シートを黒板に貼る。	
	<p>身近なもので食器を作る方法を伝える</p> <p>食器が使えない時、何を食器代わりとして使えばいいか考えてもらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 写真シートや実物等を見せ、身近にある新聞紙(チラシやプリントでも可)とポリ袋(もしくはラップ)で食器が作れることを伝える。 紙食器にポリ袋(もしくはラップ)をかぶせることで、食べ物を入れることができ、使い終わってもポリ袋(もしくはラップ)を交換すれば繰り返し使えるというポイントを伝える。
	「折り方シート」と用紙(新聞紙、チラシ等)を配る。	
	<p>紙食器づくり</p> <p>実際に新聞紙(もしくはチラシやプリント)を使って、紙食器を作ってみる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前で折り方を解説しながら、紙食器を折ってもらう(分かる人は折り方シートを見て自分で進めてもOK)。 用意できるようにであれば、ポリ袋やラップを折った紙食器に被せて完成させる(用意できなくても口頭でポリ袋やラップを被せて使うことを伝える)。 ※お菓子やお茶を入れるなど、実際に使ってみても良いでしょう。
まとめ (2分)	<p>学んだことをおさらいする</p> <p>定期的に折ってみることをすすめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> キャンプなど実際に使える場が日常生活の中にあるかどうか考えてみる。 時間内に作れなかった形について、家でお家の人と一緒に作ってみるように伝える。